

『輝く雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2019年2月
第76号



私たちが
がんばったよ!

鵜野議員の一般質問 .. 4



吹雪による視界不良。秩父別道路に防雪柵の設置推進を求めました。

4件の意見を付けて .. 6

地方創生特別委員会の最終調査報告。ずっと住みたくなるまちづくりを求めて。

基金残高32億円に .. 8

決算特別委員会の審議報告。一般会計と水道事業会計に意見を附して認定しました。

決算特別委員会の審査報告2件と所管事務調査報告で始まりました。町長提案の一般会計を含む9件の予算案を主に審議し可決しました。

一般会計に**5,148万4千円**を追加

予算総額が**49億553万1千円**になりました。

平成30年 第4回 定例会

12月19日～20日

●主な補正

幌新温泉

除雪タイヤショベルのエンジン修理と大浴場給湯配管の漏水修理費 447万円

ふるさと納税

4000万円増の返礼品などの費用 1574万円

知事・道議会議員選挙費

165万円

町長・町議会選挙費

69万円

福祉灯油

100リットル分の助成金

204万円

子育て交流広場

遊具などの購入費

ふるさと寄付金などを充当

450万円



道所有148坪の土地購入費 130万円

町民体育館

消防ポンプバッテリーの交換、遠赤外線暖房機の修繕費 450万円

職員費

平成30年人事院勧告に伴う給与改正 480万円

予算措置

持ち家住宅奨励金

子育て世帯を含む8件の新築と中古住宅6件分

855万円

乳幼児等医療費 30万円

基金の増額

ふるさとづくり基金費

2000万円

振興基金費

303坪の土地売買代金

437万円

農産加工場

加工用トマトの入荷が計画比7割程度に落ち込んだため減額補正をしました。

製造費 496万円

原材料費 600万円

●質問

農産加工場

原材料は今年度の収穫目標に對しどの程度の減なのか。生産者の減収対策は。

答 310トンの目標が189トンに終わりました。栽培をして頂けるよう対応策を検討したい。

答 ジュース分試算は1千万円程の収入減、他の商品で500万円強の売り上げがありました。

答 生産物売払収入は440万円しか減っていない理由は、

原材料費が減っているのに

少しているのに

生産物売払収入は440万円しか減っていない理由は、

ジュース分試算は1千万円程の収入減、他の商品で500万円強の売り上げがありました。

答 加工場の東側に148坪道有地を購入している。用途は何か。

答 加工場とも隣接しているので雪捨て場、繁忙期の運搬車両置き場に利用したい。

旭寿園 入所者を制限している理由は

旭寿園 入所者を制限している理由は

旭寿園 入所者を制限している理由は

旭寿園 入所者を制限している理由は

旭寿園 入所者を制限している理由は

旭寿園 入所者を制限している理由は

何か。臨時職員は何人減ったのか。

答 部屋を個室化するのに全部改修をするので空室が必要なためです。臨時職員は1名です。

固定資産評価審査委員会委員に再任

生田忠幸氏（2期目）
大西晴彦氏（4期目）
全会一致で同意しました。

表紙の写真

2月3日、第9回エンジョイミニバレーボール大会が町民体育館で開催されました。12チームがエントリーし、「チームスプラッシュ」が優勝しました。



議決された 意見書

第4回定例会

農畜産物の 市場開放を 防ぐために

日米物品貿易協定交渉は一層の農畜産物の市場開放に繋がりがねません。次々と進められている市場開放は、重要農畜産物の多くを抱える北海道農業に多大な影響を及ぼす恐れがあります。農畜産物関税の削減・撤廃は、毅然とした姿勢を貫き安易な協議は行わないよう求めました。



第7回 臨時会 平成30年11月13日

工事契約と一般会計補正予算を審議しました。

請負契約

子育て交流広場整備工事

契約金額 9,558万円

工期 平成31年3月27日

契約の相手 岩田地崎建設株式会社

工事場所 沼田町南1条2丁目 旧幼稚園

工事内容 屋上防水、外壁塗装、電気、水道などの改修

旧幼稚園を改修して支援、母親の憩いの場の拠点として整備

一般会計補正予算

除雪車両の修繕費 480万円

※平成14年除雪専用車のフロントアクセル車軸交換と、平成16年除雪ドーザーの油圧ポンプなどの修繕



第8回 臨時会 平成30年11月30日

給与と報酬に関する条例改正3件と一般会計補正予算を審議しました。

民間格差を是正することとした人事院勧告に準拠し、給与と報酬条例の改正をしました。

職員について

1. 初任給 1,500円の引き上げ

2. 期末勤勉手当 0.05ヶ月分の引き上げ

特別職の職員と議会議員の期末手当 0.05ヶ月分引き上げ

一般会計補正予算

条例改正に伴い議会費9万8千円を増額補正しました。

第1回 臨時会 平成31年1月10日

一般会計補正予算と固定資産評価審査委員会委員の選任を審議しました。

一般会計補正予算

旭町コミセンのストーブの交換 31万5千円

中学校校長住宅の止水栓3ヵ所の交換

29万円

固定資産評価審査委員会委員に再任

鵜野育雄氏（3期目） 全会一致で同意しました。



今回の定例議会の傍聴者は、17名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

町長への一般質問

問 水道料金の細分化を

答 赤字になります、皆さんで議論を

うに水道料金の細分化が出来るのか。



橋場 守
議員



水道会計は皆さんの収入で、賄っております。

問 沼田町の水道基本料金は10トンで2311円です。超過料金は1トンにつき380円です。

少子高齢化で少人数家庭が多くなり、特に高齢世帯では10トン使用しない家庭が多くなっています。70歳以上の非課税世帯では6トンで基本料金が設定されています。使用量の少ない家庭への負担が減るよ



細分化すると当然収入が減ってきますから赤字会計になっていきます。今後は給水収益も年々減

橋場議員のそのほかの質問

問 厚生クリニックの皮膚科の待ち時間の改善を

答 事前予約制を検討

問 消費増税の反対を国に要求を

答 実施が必要と考える

少していきます。そうした状況の中で、各家庭に供給するためには、適切な維持管理もしなければなりません。

こうしたことを考えると、利用者に公平に負担していただくと考えています。高年齢者だけでなく、子育て世代の方からも料金が高いと聞いていますので、今後、皆さんで議論しなければならぬ問題と認識しています。

問 秩父別道路に防雪柵の設置を

答 協力を得られるよう努力



之 範 野 鶴
議員

設置を望む声を聞いています。

いろいろな問題があるが設置に向けた取り組みがでないか。

問 国交省は気象庁が警報を出すレベルの大雪の際、立往生する恐れのある区間で、すべての車にタイヤチェーンの装着を今冬から義務付けました。沼田町においては立往生の原因は視界不良です。特に沼田町、秩父別町間の道路がひどく、毎年多くの車が路外逸脱や、追突、また立往生したりと非常に危険な区間です。町民の多くから防雪柵の

道道沼田妹背牛線は毎年、道に要請していますが、秩父別町の沿線の方の理解が得られない状況です。そうした中で青色の電光の矢印を増やしたり、路肩の雪山を低くすることで、吹き溜まりを

鶴野議員のそのほかの質問

問 冬期間の大規模停電の備えは

答 自家発電は役場庁舎に設置されています

軽減するなどの工夫をしていると聞いています。今後も道は地元の協力を得られるように、いろいろと検討して、実施したいとの意向です。町としても、要請し続けていきたいと考えています。



一般防雪柵

問 金平町政8年間の総括を

答 町民のために町の発展を目標にやってきた



元 宏 久 議員

問 8年前に「町民を大切にする町政」を目標に、金平町政がスタートしました。

給食センターや議論中の火葬場の統合に代表されるように、「合理化」が進んだと感じます。

一方でコンパクトエコタウン構想は、国の施策に乗って「有効な補助金」を獲得して事業を進めました。

これらはスピード感があり、スムーズに事業展開がされましたが、JR問題に関しては町民が諦めるのを待つように全く進展がありません。

国の方針と町民の思いが違っている時こそ、公聴活動を進めて町の考え

を、国に訴えるべきだと考えます。
「有効な補助金」を獲得することは大切です。「合理化」の時にも見られた町民の真の思いを町政に反映するべきと考えますが、2期8年を振り返り思いを伺います。



利用が好調な「まちなかほっとタウン」



町の財政を維持して

発展させて行くためには、ある程度の整理統合は必要であると考えます。他市町と共同で出来ることは共同で行い、節約したお金を町内の事業に有効に使っていくとの考えです。

コンパクトエコタウン構想は、国の要求に応じて行ったわけではありません。町の医療と介護の将来や、買い物の利便性を考えたとき、町民の皆様から寄せられた意見をまとめ上げ、国に要望して実現しました。

その甲斐があり、ある程度の成果を得ることが出来ました。町の発展のために、多くの意見に耳を傾け大切にして、事業に反映してきたつもりです。

長生クラブとの懇話会

平成30年11月12日

長生クラブ20名の皆さんとゆめつくるにおいて懇話会を開きました。

初めに松野会長と渡辺議長からご挨拶をいただき、大沼議会運営委員長の司会で進められました。

意見交換の内容は次の通りです。

○議員確保のために議員定数と議員報酬の変更を検討してはどうか

○就業支援センターへの要望

○ふるさと資料館の現状と今後の活用

○化石レプリカ工房と化石体験館を一つにまとめられないか

○ふるさと納税の内訳は人口減少対策についての考えは

○地震の際沼田の震度がテレビに出ないのはなぜか

○緑町団地の防災対策について

て

○旭町の高齢者住宅共用部の雨漏りについて

これから多くの皆さんのご意見をお伺いする機会を持たいと思います。



話題になったレプリカ工房



活発な意見交換

特別委員会 報告

委員長 高田 勲
副委員長 鷗野 範之



調査報告

沼田町第5次総合計画の最終年にあたり、検証し意見を付して報告します。

人口減少や少子高齢化が進行する中、平成26年11月に、まち・ひと・しごと創生法が制定され、この4年間は地方創生とリンクさせながらの取り組みとなりました。そのことから、地方創生の基本目標である、「地方においての安定した雇用を創出」「地方への人の流れ」「若い世代のフアミリープランを実現」「地域と地域の連携」の4点を基本に、具体的な取り組み成果を検証しました。



地域コミュニティの拠点

(1) 地方においての安定した雇用を創出

安定した雇用の創出は、特に若者と女性の就業率の向上です

雇用の創出については、長年にわたる企業誘致活動が実を結び、数社が誘致される事となり大きな成果でしたが、労働力の確保が課題となっています。

一方で、今後においても、地域の特色を生かした基幹産業である農業を軸とした雇用の創出が必要です。農業と商工業の活性化をはかり、農業で「しごと」を創りだし「ひと」を呼び集める事業の展開が必要と考えます。

この観点から、農村の活性化に向けた地域コミュニティ機能による農地等の地域資源の維持、継承や住みやすい生活環境の実現、都市と農村の交流や都市住民の移住・定住の促進、インバウンド観光にも対応した農村における雇用の確保と所得の向上が取り組みとして必要であります。

この事を取り進めるには、町が単独で行える施策には限られることから、さらにJ Aや商工会との連携が必要と考えられます。

(2) 地方への人の流れ

「移り住みたくなる」「そこで働きたくなる」地域を創る

移住定住政策では29年度、社会人口増減が14人の増加とりました。これは民間活性化によるニーズに合った住宅の提供、ブランディング戦略事業やセルフリノベーション事業による情報発信力強化による成果と考えられます。

今後においては、地域の特色を生かし、自然環境などの魅力あるまちづくり、沼田でしか出来ないオンリーワンのまちづくりが必要と感じられます。

また、移住していただいた方の継続的なケア体制の充実も政策として必要です。

さらに、こうした環境での雇用の創出にテレワークやサテライトオフィスといった、新しい働き方も考えられます。



地方創生調査 最終

平成27年6月12日

平成30年12月19日

(3) 若い世代のファミリープランを実現

若者が安心して結婚・出産・子育てができる地域をつくる

子育て支援は「保育料の無償化」「がんばる高校生応援手当」など充実されつつあります。教育については「一貫・連携教育の推進」による教育サポートの成果がうかがえます。また、「子育てファミリーサポート住宅整備」や子育て世帯の住宅支援事業などが行われています。

今後においては、子育てしながら働けるワークライフバランスが保てるサポートが必要と考えます。



定着した乗り合いタクシー



子育てママをサポート

(4) 地域と地域の連携

地域間の連携を図る

子どもから、お年寄りまで様々な人々が分け隔たり無く交流できる「小さな拠点」の形成と、まちのコンパクト化とネットワークの形成に向けて、沼田町では「コンパクトなまち」を総合戦略で定めています。

平成29年度に「暮らしの安心センター」「商業中核施設」がオープンしました。その他にも、中心市街地には多くの公共施設（教育・文化・スポーツ）の拠点が有ります。これを点で結んだ時、「歩いてくらせるまちづくり」からは程遠いものがあり、現状においては「コンパクト・エコタウン構想」を実感する事が出来ません。

今後においては、小さな拠点はどこなのか、その周辺への公共施設の集積が必要と考えられます。

次期計画期間の後半には、さらに高齢化が進み、介護を要する人が増加するものと思われます。「暮らしの安心センター」周辺で目指す介護と福祉エリアの施設整備は、緊急を要す課題と考えます。

また定住自立圏の形成促進には医療・福祉、地域公共交通などの取り組みに加え、地域の特色と圏域のポテンシャルを生かす様々な取り組みが期待されます。

以上をふまえ、沼田町第6次総合計画は、沼田町がこれからも単独で存続するための、新たなステージに向けての計画となります。産業の振興と産業人口の確保は町の発展を考えたときの土台となるものです。人口ビジョンで掲げた目標に、総力を挙げて取り組む必要があります。

高齢者の方たちがゆとりを持って暮らし、生産世代がしっかりと社会を支え、子どもたちが生き生きと活動できる、誰もが「ずっと住みたくなるまちづくり」をすすめる施策が必要です。

第6次沼田町総合計画への展望を記し、地方創生調査特別委員会の報告といたします。

決算特別委員会

平成29年度決算
全会一致で認定される

平成30年10月18日～23日

委員長 高田 勲

副委員長 小峯 聡



一般会計

◎歳入決算額

53億6455万円

◎歳出決算額

52億5702万円

◎実質収支額

1億753万円

◎町債残高

29億6456万円

◎基金残高

32億3045万円

総括質問

1. 体育施設の利用促進



長原議員
教育委員会の
管理する施設の
中で、利用者
が増加傾向の
施設もあることですが、
交流人口の増加に活かせな
いか。利用者の減少してい
る施設の利用者対策は。

小峯議員
スキー場は教育施設や
道の駅でのチラシの効果で、
利用者が増えたと考えてい
る。全体では町外の利用者
が減っている。特にパーク
ゴルフ場は悪天候による大
会中止が大きな原因となっ
ている。

2. 高齢者世帯の除雪費支

援



高田議員
高齢者世帯の
除雪支援をより
使いやすいよう
に助成基準の見
直しはできないか。

大沼議員
30年に見直しをしてい
るが適用範囲は変えていな
い。利用者は増えると思え
ているが不公平感が出ない
よう検討したい。

3. 農家戸数維持目標を持

つべきではないか



久保議員
法人支援や農
業支援員などの
育成と所得対策
で、耕作放棄地
を出さない政策は評価する
が、農家戸数と従事者数の



ナイスショット

数値目標を持つべきではな
いか。また、小規模農家へ
の政策は必要で、大きな農
家小さな農家が混在できる
施策が必要ではないか。

4. 安心センターの屋根雪



久保議員
本来沼田のよ
うな豪雪地帯で
も除雪の必要が
ない設計と聞い
ていたが、今後
の考え方につい
て聞きたい。



雪下ろしは不要のはず

答 予算を流用し除雪に対
応した。流用の説明がなか
ったことについては謝罪す
る。基準の2.2mの積雪を超
えたので、万が一を想定し
て除雪をした。

5. コンパクトエコタウン

構想



平成29年予算
等審査特別委員
会の意見にあつ
た施設満足度の
向上を図ってほしい。

答 30年度に入ってから利
用者が増えていて、利用者
層が厚くなっていると考え
ている。乗り合いタクシー
も整備され、健康運動士な
どを活用し他事業も含め利
用しやすいよう考えていき
たい。

久保議員
（2）デザインコンセプト
がコンパクトエコタウンを
繋ぐ効果が出ているのか。
つながる塾や
子育て懇談会な
どで意見の集約を行ったと
のことだが、現状では施設
利用者以外の町民がデザイ
ンコンセプトの存在を知ら



ないが、今後どのように認知度を上げて活用していくのか。

答 デザインコンセプトはコンパクトエコタウンの統一感を持たせるために象徴するものを作った。住民とはまだ距離があるかもしれないが、子育てや、移住定住をイメージした統一的なサインとして町全体のイメージを作っていく。

(3) コンパクトエコタウン構想の今後の方向

高田議員 庁舎内で継続的に検討をしているとのことですが、人口減少が想定される中で、町民ニーズに合った全体像を聞きたい。

答 まだ具体的にはないがいろいろな施設で町民が安心して住むことができるようにしていきたい。

29年度 沼田町一般会計歳入歳出決算認定意見書

コンパクトエコタウン構想

「まちなかホットタウン」「暮らしの安心センター」がオープンし、利用実績は両施設とも堅調に推移しています。今後はゆめっくるや観光情報プラザを含めて中心市街地の活性化と商店街の賑わいを取り戻し、最終目標である「歩いて暮らせるまちづくり」を目指す事業展開を望みます。

農産加工場の異物混入事案

11月に発覚した農産加工場での異物混入事案は、業務実績が順調に推移していたこともあり誠に残念な出来事でした。結果的に製品回収や保証にかかる経費が1,623万円計上されましたが、迅速な処置と対応の成果もあり最終消費者でのトラブルを避けられたことが唯一の救いであります。設備面での対策は完了しましたが、人為的ミスを解消するための「作業標準の確立」と、食品製造業者の使命である「絶対品質の確保」を意識した工場内外での啓もう活動を望む。

予算の流用

地方自治法で定められた中で予算の流用が行われているが、施設の基本機能に係る流用が議会に報告のないまま行われていた。

緊急性があったとはいえ住民に説明していた管理方法に反した流用であり、遺憾である。再発防止を望む。

平成29年度 沼田町水道事業会計歳入歳出決算認定

平成29年度は水道事業の効率を示す有収率が、前年の81.8%から84.6%となり2.8ポイントの改善がなされました。9年連続での有収率80%以上は評価するところです。今後も効率的な配水管の設備改修に努め、適切な維持管理を望みます。

監査委員からの指摘にあるように、今後人口減少などに伴い水道事業にも厳しさが増してくることが予測されます。北空知広域水道企業団より示されている長期財政計画を念頭に置き、より一層の健全な事業運営に努めることを望みます。

みんなの広場



活動をととして

沼田町自治振興協議会 会長 石田 隆 広

新しい年が始まり1ヵ月が過ぎて、マスコミの報道や会議の挨拶などで、諸行事が平成の時代ではこれが最後であり、新しい年号の時代が訪れると期待している感が有ります。私も昭和、平成そして新しい年号の時代を生きること感慨深いものがあります。

自治振興協議会の活動は、町内会の横の連絡組織として発足して、18年歩んできました。各町内会の行政に対する要望の取りまとめ、回答の配布を行っています。このことを踏まえて、町議会議員の皆様と懇談会を開催し、課題を共有し協力し合うことに努めています。

春のグリーンルールの花壇苗供給による花いっぱい運動、夏の夜高あんどん祭前の国道、道道緑石の雑草除去等の地域ボランティア活動や、地域提案型事業の認定、推進を通じて炊き出し訓練や、防災グッズの整備を進めた町内会が有ります。このことが地域全体に広がり、自主防災組織の結成に繋がり、昨年の全道ブラックアウトや、河川氾濫に備えた自助であり共助になればと思います。

また、沼田町としての公助の在り方を検討してほしいと思います。

今年の思いを 漢字一文字



渡辺議長



杉本議員



大沼議員



長原議員



鵜野議員

浅野局長



高田副議長



橋場議員



津川議員



久保議員



小峯議員

沼本書記

皆

充

徹

止

始

無

集

町

笑

躍

進

報

あとがき

昨年の12月は比較的暖かく根雪も遅かったため雪かきにはあまり苦労しなかったのではないかと思います。年が明けてからは猛吹雪になったり、1日にたくさん降る日がありましたが、比較的雪の降る日数は少なかったと感じます。

ここ10年くらい偏った天気や毎年続いているのは皆さんが付いているのでしょうか。近年は気温が急に30度まで上がった、昨年のように6月の気温が5月の気温ぐらいに下がったりしています。また雨が1週間前後降り続いたり炎天下の日が続いたりしています。どちらも作物にとって厳しい天候です。異常気象が続くとそれが平年となるのかもしれませんが、今年はほどほどの天気豊作になることを願っています。

1月にはインフルエンザも大流行していましたので、皆さんもお体に気を付けてお過ごしください。

広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲
小峯 聡 長原 誠
鵜野 範之